

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立依羅小学校

令和8年4月

(様式1)

大阪市立依羅小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

学校教育目標を「互いを認め合い 未来に向かって ともに伸びようとする子の育成」と掲げ、「やさしい依羅の子の楽しい学校」づくりをめざし、以下の内容に取り組んでいる。

【安全・安心な教育の推進】

- ・子ども理解を徹底し、子どもの自尊感情を育む。(毎月のいじめアンケート・登校支援・たてわり活動 等)
- ・人権教育を基盤とし、互いを認め合い、自分や他の人を大切にすることを育む。(インクルーシブ教育・平和学習・国際クラブ 等)
- ・創立 153 年(令和8年度時点)をふまえ、地域とともに教育活動に取り組む。(地域学習・依羅地域活動協議会、住吉区東部人権教育研究協議会との連携)
- ・生活背景を含めた子ども理解のための、保護者との連携に取り組む。(家庭訪問・ホームページ等による情報発信 等)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・教職員が互いに切磋琢磨し、教員としての力量を高める。(授業研究会・メンター研修・特別支援教育研修・ICT研修 等)
- ・誰一人取り残さない学力の向上に取り組む。(アフタースクール・自立活動 等)

(令和7年度全国学力・学習状況調査 平均正答率)

	本校	大阪市	全国
国語	66%	65%	66.8%
算数	57%	58%	58.0%

【学びを支える教育環境の充実】

- ・教育活動を計画的・組織的・意図的に行うためのカリキュラムマネジメントに取り組む。
(「依羅の教育」の編成 等)
- ・安全、安心で気持ちよく過ごせる施設・設備の整備に取り組む。
- ・教育活動の充実を目的とした教職員の「働き方改革」を進める。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 11 年度末までに、全国学力・学習状況調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を 80%以上にする。
- いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における『大阪市いじめ対策基本方針』に基づきたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を 100%にする。
- 前年度の不登校児童生徒の割合を 50%以上改善する。
- 令和 11 年度末までに小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を 90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 11 年度末までに全国学力・学習状況調査における学力に課題の見られる児童生徒の割合の全国との差（算数）を 0%以下にする。
- 令和 11 年度末までに「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を 90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 11 年度末までに小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を 80%以上にする。
- 令和 11 年度末までに「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】に基づき、教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 20 時間以下とする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。
- いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における『大阪市いじめ対策基本方針』に基づきたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を 100%にする。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- 教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月35時間以下とする。（前年度1か月の時間外勤務時間が45時間を超えていない教員の割合72.2%）

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立依羅小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

1【安全・安心な教育の推進】

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。</p> <p>○いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を100%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>学習者用端末を用いたいじめアンケートや相談申告機能、心の天気などで認知したいじめについて解決するようにする。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 ・いじめアンケートを毎月実施し、いじめの早期発見・解決に努める。 ・令和8年度実施するいじめアンケートにおいて、認知したいじめについて、解決した割合を100%にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>8時40分までに登校の確認が取れていない児童の状況を把握し、登校支援をする。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8時40分までに登校していない児童を確認し、電話連絡または家庭訪問を行う。 ・昨年度の不登校児童の把握をし、毎月対象児童について情報の交流をし、アセスメントの共通理解を図る。 	

<p>取組内容③【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>自己肯定感を高める活動及び他者理解や互いに認め合う活動や機会を学年の実態に応じて日頃より取り組んでいく。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケートにおける「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 ・学校アンケートにおける「友だちと一緒に勉強や活動をすることは楽しいですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上とする。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>後期への改善点</p>	

大阪市立依羅小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

2【未来を切り拓く学力・体力の向上】

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における、算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>児童の実態を把握し、基礎・基本的な学習内容の定着を図り、児童一人一人に応じた指導や支援を行う。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週に1回（年間25回以上）、アフタースクール（放課後学習）を実施する。 ・「質の高い授業づくり」を通して、授業力向上を図る。 ・教員の授業力向上のため、教員間で授業を参観できる体制を整える。 	
<p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>学力保障担当者会及び研究推進委員会を中心に、児童の学力向上に向けた取組を共有し、教職員の授業改善を図る。また、算数科における前年度標準化得点100に満たしていない児童を把握する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査等の出題内容、問題傾向及び前年度の結果の分析を行い、教職員の授業改善につなげる。 ・前年度標準化得点に満たしていない児童をリスト化・共有するとともに個に応じた支援につなげる。 ・学校アンケートにおける「算数の勉強はよくわかりますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を前年度以上にする。（前年度89.7%） ・学校アンケートにおける「算数の授業で苦手なところが分かり、できるようになっていますか。」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を75%以上にする。 	

取組内容③【基本的な方向5、健やかな体の育成】

運動することの楽しさを実感できるように、遊びや運動に関する取組を企画し実施する。また、授業を通して、運動の楽しさを実感させる。

指標

- ・学校アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・委員会が中心となって、休み時間にできる体を動かす遊びや運動の楽しさを紹介する。
- ・運動週間を年2回実施し、運動への意欲が高まるように運動週間用のカードを準備したり運動の仕方を発信したりする。
- ・年3回の校内研究と年3回の校内研修を行い、教員の指導力向上を図る。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

後期への改善点

大阪市立依羅小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

3【学びを支える教育環境の充実】

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。</p> <p>○教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月35時間以下とする。 (前年度1か月の時間外勤務時間が45時間を超えていない教員の割合72.2%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>児童のICT利用を促進し、習慣化を目指す。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に合わせて学習者用端末を活用した話し合い活動を実施する。 ・学校アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向6、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>ICT活用に関する校内研修を行い、教員の指導スキル向上を図る</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用に関する校内研修を月に1回実施する。 ・意見共有ツール（SkyMenu、Formsなど）活用に関する校内研修を年に3回実施する。 ・前年度と比較して、ICT機器・デジタル教材を授業で効果的に活用できた教員の割合を向上させる。 	
<p>取組内容③【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>校内で定められている退勤時刻を遵守し、教職員一人一人が計画的に業務に取り組む。</p>	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月3回の「ゆとりの日」と月1回の「定時退勤日」を設定する。(繁忙期を除く。) ・「ゆとりの日」「定時退勤日」と通常時の18時30分閉庁となるよう、見通しをもって校務に取り組む。 ・健康防止機能を活用し、教職員が時間外勤務を日々確認しながら業務に当たる。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	